

各 会 計 別 予 算 表	会 計 名	平成20年度	平成19年度	増 減
	一 般 会 計	56億6,407万5千円	61億8,688万5千円	△ 5億2,281万円
	国民健康保険事業特別会計	21億4,249万円	21億3,934万円	315万円
	水道事業会計	2億5,026万円	2億4,963万6千円	62万4千円
	老人保健特別会計	2億2,592万9千円	18億1,538万6千円	△ 15億8,945万7千円
	公共下水道事業特別会計	5億2,280万7千円	5億9,363万5千円	△ 7,082万8千円
	介護保険事業特別会計	14億4,489万6千円	13億9,737万8千円	4,751万8千円
	後期高齢者医療特別会計	1億6,866万3千円	0千円	1億6,866万3千円
合 計	104億1,912万円	123億8,226万円	△ 19億6,314万円	

平成20年度の主な事業

【施設等の整備】

旧県共済住宅改修工事、小型動力ポンプ、消防ホース購入、交通安全施設工事

【大隅スポーツ交流拠点プロジェクト事業】（まちづくり推進室）

恵まれた自然を活用しながらスポーツと観光による交流人口の拡大を図り、スポーツ産業、観光産業等の振興方策を探るための事業

【地球温暖化防止対策推進事業】（まちづくり推進室）

「地域省エネルギービジョン策定等事業報告書」の基本方針に沿って、住民参加型の地球温暖化防止活動を推進する事業

【マスターズプロジェクト推進事業】（保健福祉課）

鹿屋体育大学と連携し、高齢者の体力維持・向上を図り、自立した生活の確保を支援する事業

【農業後継者対策推進事業】（農林振興課）

新規就農者支援や農業高校との密な連携を行うことにより、次代の町農業を担う優れた農業後継者の育成を図る事業

【繁殖雌牛更新対策事業】（農林振興課）

不妊牛、低能力牛の更新で生産率および資質の向上を図り、肉用牛生産農家の経営安定を図る事業

【合併処理浄化槽設置補助事業】（水道課）

下水道認可区域外で設置される合併処理浄化槽設置費の一定割合を助成する事業

【町道等整備事業】（建設課）

中段牧線、仮宿下原線、上三文字地区都市下水路工事等

【学校施設整備事業】（教育委員会管理課）

小学校校舎耐震診断業務委託、大丸小学校管理教室棟屋根防水工事、大崎第一中学校体育館屋根防水補修他工事等

【大規模土地改良事業等】（耕地課）

経営体育成基盤整備事業（ほ場整備・長田地区）
農村振興総合整備事業（ほ場整備・岡別府地区）
曾於南部地区県営畑地帯総合整備事業（管水路、農道整備）
県営海岸保全施設整備事業（護岸整備・菱田地区）

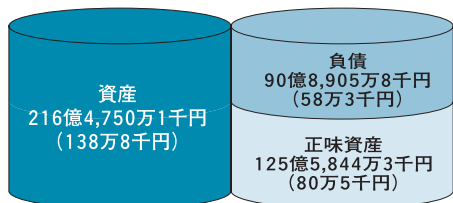
基盤整備促進事業（農道改良舗装・梶谷地区）

農地・水・環境保全向上対策事業（田畑改良・仮宿、永吉地区等）

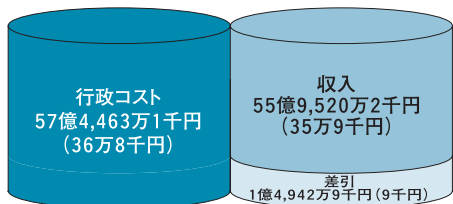
平成18年度の大崎町の財政状況 バランスシートと行政コスト計算書

（平成19年3月31日現在）

① バランスシート（一般会計）



② 行政コスト計算書（一般会計）



『バランスシート』と『行政コスト計算書』は、一般企業の貸借対照表と損益計算書に当たるもので、本町の財政状況を示したものです。なお、（ ）内は町民一人当たりの金額です。

【解説】

資産とは、庁舎や学校・公園などの公共施設や道路など、町の保有する財産のことです。大崎町の資産は、平成18年度末時点で216億4,750万1千円となっています。

負債とは、町債（町が行う借金）や退職手当引当金のことです。将来、支払いや返済する必要があるものです。平成18年度末の大崎町の負債は90億8,905万8千円です。

正味資産とは、資産と負債の差額です。これまでの世代が作り上げ、後世に引き継ぐものと言えます。大崎町の正味資産は、平成18年度末時点で125億5,844万3千円となっています。

【解説】

行政コスト計算書は、資産形成につながらない人件費、物件費、扶助費などに着目して、1年間の行政サービス活動にかかった費用を示すものです。収入額（55億9,520万2千円）から行政コスト総額（57億4,463万1千円）を差し引いた額（△1億4,942万9千円）が、平成18年度中の正味資産の一般財源などの増減分です。